



World Vision

この子を救う。未来を救う。



カンボジア王国

トモ・プオ地域開発プログラムのご紹介 (CAM-195745)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもに直接お金やモノを提供するプログラムではありません。支援地域の子もたちが健やかに成長するための環境を整え、人々が“未来を切り拓く力”を得られるようにする、長期的な支援活動です。チャイルドが住む地域とその課題、現地でワールド・ビジョンが実施している活動についてご紹介します。

地域の課題



支援地域の一般的な住居の様子



乾期はほとんど雨が降らず、農作物が育ちません



保健・栄養改善

- ・ 低身長の子ども
- ・ 低体重の子ども

27%***
19%***



水衛生

- ・ 安全な水源から水を得られない人
- ・ 衛生的なトイレを使用していない人

97%***
83%***



教育の質

- ・ 9年間の基礎教育を修了できない子ども

18%*



出稼ぎ労働者の増加

- ・ 家族が出稼ぎに行っている世帯

39%***

*2014年 **2015年 ***2016年時点

カンボジア王国

インドシナ半島に位置し、ラオス、ベトナム、タイと国境を接し、南部は南シナ海に面しています。国土は日本の半分弱の広さで、クメール人が国民の90%以上を占め、宗教は上座部仏教が主流です。教育制度は、就学前教育（3年）、初等教育（6年）、前期中等教育（3年）、後期中等教育（3年）、高等教育（4年～）で、義務教育は初等教育と前期中等教育の9年間です。1970年代のクメール・ルージュ率いるポル・ポト政権による大量虐殺やその後の内戦を経て、1990年代に民主的な選挙が行われ、立憲君主制国家として歩んでいます。

● 首都：プノンペン

地域情報

トモ・プオ 地域開発プログラム

支援期間：2010年～2029年

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都プノンペンから北西へ約350kmの場所に位置する、バンティ・ミンチャイ州トモ・プオ郡にてプログラムを実施しています。住民の多くは農業に従事していますが、11月～4月の乾期は農作物がほとんど収穫できません。その間、食料の備蓄が十分でなかったり、乾期が長引いたりすると、日々の食料にも事欠く世帯が出てきます。現金収入を求めて、都市部や国境を越えてタイに出稼ぎに行く人々もいますが、非合法な出稼ぎで様々な危険に遭遇したり、出稼ぎが家族崩壊の一因になるなどの問題が発生しています。

地域の課題



保健・栄養改善

健康管理や栄養に関する住民の知識が不足しているため、頻繁に下痢を起こし、栄養状態が悪い子どもも大勢います。また、子育て中の母親や妊産婦への、保健・栄養に関する知識の普及が課題です。



水衛生

安全な水源が少なく、水を煮沸したり不純物を取り除いたりする知識がないため、汚れた水を飲んで下痢などの病気にかかる子どもが後を絶ちません。衛生的なトイレの利用率も低く、衛生環境が劣悪です。



教育の質

小学校入学率は9割を超えるものの、基礎教育を修了できるのは82%です。家計を助けるために働きに出て、中退せざるを得ない子どもがまだ多くいます。給料が低いため、副業を持つ教師が多い状況です。教授法に関する十分な研修も受けていないため、教育の質も低迷しています。



出稼ぎ労働者の増加

地域内に雇用の場が十分になく、農業だけでは家族を養えないため、出稼ぎに出る住民が多くなります。特にタイへの不法な出稼ぎが多く、危険な目にあったり、家族が離散し崩壊したりする場合があります。住民が地域の中で十分な収入を得られるよう支援が必要です。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- 母親・保護者への、栄養や母乳育児の啓発
- 保健サービス改善に向けた行政への働きかけ



母親に料理指導を行い子どもたちの栄養状態の改善を目指します

- 貯水池、井戸、給水システムの整備
- 衛生知識普及のための住民リーダーへの研修
- 手洗い、爪切りなど衛生習慣普及のための活動



子どもたちが衛生的な水を飲むよう支援します

- 読み書き・計算能力の向上を目指した課外授業（中退した児童も対象）
- 教師への、教授法や学校運営についての研修



子どもたちが継続的に質の高い教育を受けられるよう支援します

- 行政、寺院、教会等と地域ネットワークを構築し、両親の出稼ぎのため、祖父母や親戚等と暮らす特に貧困世帯の子どもたちを支援



住民が地域内で生計を立てていけるよう支援します

支援はチャイルドの生活を変える力となります



勉強が不得意だったリンクン（左から2番目）は、授業についていけず、先生に怒られるので学校が嫌いでした。授業をさぼって牛の世話をしたり、動物を捕まえに行ったりするリンクンを、両親はどう扱っていいかわかりませんでした。

しかし、ワールド・ビジョンの活動を通して、リンクンは教育の重要性や衛生習慣について学びました。また、チャイルド・スポンサーから手紙を受け取り、大いに元気づけられました。大きくなったら車や機械を修理する仕事をしたい、という夢を持ち、一生懸命勉強しています。

ワールド・ビジョンは、リンクンのような子どもたちを励まし、健やかな成長を助けるために、支援活動を行っています。

マイワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報がご覧いただけます。

ホームページトップの「**支援者の皆さまへ**」に進み、「**アカウント作成**」のボタンから、手続きをしていただけます。申請後、5営業日以降、情報をご確認いただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**
@worldvisionjapan

 **Instagram**
@worldvisionjapan

 **Twitter**
@WorldVisionJPN